9月1日は「言語聴覚の日」です

日本言語聴覚士協会は、平成12年1月16日に国家資格を有する言語聴覚士の職能団体として発足しました。多くの方々のご支援によって誕生した本協会には、現在、医療・福祉・保健・教育の現場で働く約 6700 名の会員が所属しています。

言語聴覚士は、聞こえやことば、食べることや飲み込むことに問題（言語聴覚障害、摂食・嚥下障害）を生じた方々に、評価、指導、訓練などの専門的サービスを提供し、障害の軽減を図るとともに、より質の高い社会生活の実現に向け支援していく職種です。

わが国における言語聴覚士の数は平成11年に第 1 回の国家試験が行われた後、順調に増加して1万2千人を超えるまでになりました。しかし、現在、わが国では医療・保健・福祉・教育の各分野で制度改革が進み、それに伴う業務領域が増加しております。そのため、言語聴覚士は未だ必要数を満たしているとは言えず、また、言語聴覚障害、ならびに摂食・嚥下障害については一般の方によく知られていないという現状があります。そこで、本協会は言語聴覚障害や摂食・嚥下障害ならびに言語聴覚士について広く知っていただくことを目的に、言語聴覚士法が施行された 9 月 1 日を「言語聴覚の日」とし、この日を中心として集中的な広報活動を行うことにいたしました。

今回の「言語聴覚の日」の事業を通して、言語聴覚障害や摂食・嚥下障害について一人でも多くの方が理解を深めて下さることを願っています。